



2023年6月28日

各位

会社名 **株式会社 ヨロズ**
横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代表者名 代表取締役社長 平中 勉
(コード番号 7294 東証 プライム)
問合せ先 取締役専務執行役員 平野 紀夫
(TEL:045-543-6802)

企業価値向上によるPBR改善に向けた取り組みに関するお知らせ

当社は東京証券取引所の「市場区分の見直しに関するフォローアップ会議」の経過や2023年3月31日付の要請を踏まえ、資本コスト(WACC、株主資本コスト)、資本収益性(ROIC、ROE)、市場評価(株価・時価総額、PBR、PER)などについて分析や検討を重ねてまいりましたが、2023年6月28日開催の取締役会において、持続的成長と企業価値向上を図るため、資本政策などの基本方針について改めて確認し、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 持続的成長と企業価値向上

当社は2021年5月に中期経営計画(YSP2023)を発表し、「サスペンションでOnly One & No.1の開発・技術力によりお客様のニーズに応え、永続的に発展を続ける100年企業を目指す」を企業ビジョンに掲げ、「変化に強い健全経営を目指す」を重点課題とし、営業利益率5%、ROE8%を目標に取り組んでおります。取り巻く事業環境は厳しい状況が続きますが、引き続きこの目標を目指してまいります。

PBR1倍割れの大きな要因として低迷するROEを認識していますが、コロナ禍や半導体不足等の影響により、自動車生産台数は中期経営計画の想定を大きく割り込んでおり、今年度に入り回復基調にはあるものの、世界の市場の変化など依然として不透明な状況が続くと考えております。

こうした経営環境の下、当社は、生産台数の回復だけに頼らないよう、持続的成長の基盤となるESG経営を強化するとともに、新技術・新工法を成長の核として将来に向けて取り組んでいます。主要得意先における新たな領域への商圏の拡大に加え、積極投資によって、グローバルでの受注拡大に繋がる東海地区の得意先への拡販にも注力しており、その成果は表れ始めております。

2. 資本政策

①資本コストを意識した経営

当社はサスペンションを主力製品としており、容積・重量とも大きいという特性から多額の設備投資を必要とし、装置産業としての側面もあるため、得意先の生産台数変動の影響を受けやすい宿命にあります。自動車の安全走行に欠かせない製品を安定的に供給し続けるためにも、必要と考えられる自己資本比率40~50%を維持しつつ、財務健全性やレバレッジを考慮した資金調達により資本コストの抑制も図ってまいります。

②政策保有株式縮減の継続検討

政策保有株式については、四半期ごとに取締役会で保有の意義を確認しており、2015年の保有銘柄数 36 銘柄から、現在 21 銘柄と縮減を図っております。今後も投資先との協議も含め、縮減について検討を進めてまいります。

③株主還元策の強化

株主還元につきましては、目標配当性向を 35%以上としつつ、安定的・持続的な配当を目指すとともに、引き続き業績や配当の水準も勘案し安定した配当を決定してまいります。

3. IR活動の強化

当社への理解や信頼を高めていただくため、株主さま、投資家さまへのIR活動を積極展開いたします。投資家向けのIR取材やSR面談など、積極的な対話の実施に加えて、コロナ禍で停止していたIRイベントの再開等を通じて、より当社の活動内容についてご理解いただける機会を増やしてまいります。

企業価値向上に向けた対応の進捗や見直しについては、引き続き取締役会での検討状況を踏まえ順次開示していく予定です。

以上